



このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。

まちづくり課 共働推進係
☎934-2370
FAX934-2371



ボランティア団体「うみと」オンラインイベント紹介

オンラインde「まわしよみ新聞」in文化の日
～一推(いちお)し記事プレゼン大会～

「いつでも、どこでも、だれでもできる」を合言葉に、全国で広がっている「まわしよみ新聞」。ご自宅へ届く新聞から、好きな記事を選んで理由を発表する「一推し記事プレゼン大会」をオンラインで開催します。

一般新聞、中高生新聞、KODOMO新聞を題材に、小学生から大人まで、どなたでも参加することができます。

「文化の日」にちよっぴり文化的なワークショップに参加してみませんか。

- ▶日時 11月3日(水・祝) 13時～14時30分予定
- ▶参加費 無料
- ▶定員 10グループ(先着順受付。お一人での参加も大歓迎)
- ▶参加条件 オンライン通信(Zoom、LINEなど)ができる環境が必要です。
- ▶必要なもの こちらから郵送する説明書、まわしよみ新聞セット、筆記用具
- ▶申込方法 ①うみニティ編集室うみと
✉umitto2017@gmail.com
②うみとLINE



※メールで申し込みの場合は、受信可能なメールアドレスと代表者の氏名を記載してください。のちほど、メールとLINEを通じてうみとからご案内します。



町長室の窓から

コロナ禍の中、期待と不安が交錯する中で開催された東京オリンピック・パラリンピックが無事終了しました。開催に対する国民の賛否はあったものの、大会運営の工夫などにより概ね成功を収める中で、オリ・パラの意義を改めて再認識できた大会になったのではないかと思っています。素晴らしい成績を収めた選手の皆さんはもちろん、コロナに真剣に向き合いながら、競技や運営などに携わった全ての方々、応援などで大会を盛り上げていただいた国民の皆さんに、心から敬意を表したいと思います。

また、コロナの感染状況ですが、ワクチン接種の加速化などに伴い、ここへきて大きく減少傾向にあります。まだ予断は許せませんが、これまでの経験値や医学の英知を結集してあらゆる対策を講じながら、今後も国民一丸となって粘り強く取り組んでいく必要があります。

あると感じています。必ず訪れるコロナの終息を信じて、頑張っていきたいと思います。

さて、先般開催された9月定例町議会におきまして、来春に実施される宇美町長選挙に立候補しない旨の報告をさせていただきました。マスコミ報道などにもありましたが、まだ任期の途中ではありませんが、これまでの町政運営に際し、深いご理解と力強いご支援をいただいたきた町民の皆さまをはじめ、議員の皆さま、そして、いつも額に汗して頑張っていた職員に汗して頑張っていた職員に感謝を申し上げます。残された任期を通して、コロナ感染の予防やワクチン接種など、いろいろな施策や事業の推進に不転の覚悟で臨むことをお誓い申し上げ、町民の皆さまへのご報告に代えさせていただきます。

総務課 人事秘書係
☎932-1111(代)
FAX933-7512(代)



不用品を有効活用して、資源の節約とごみの減量に取り組みましょう！

いきリサイクル情報

問い合わせ先
環境農林課 環境衛生係
☎932-1111(代) FAX933-7512(代)

不要品を有効に活用して、資源の節約とごみの減量に取り組みましょう！

ゆずってください

- 籐か竹のカーペット
180cm×270cm(2枚)
270cm×270cm(1枚)

ゆずりませ

- 幼児 昼寝用布団
(掛布団・敷布団、掛布団のカバーなし)
- チャイルドシート
(クルットNT2、メーカー:エールベベ、状態:美品、説明書あり、5年以上前のもの)

【申し込みできる方】

町内在住者
(営利目的の方や団体、18才未満の方を除く)
「ゆずってください」「ゆずりませ」掲載希望の方は、申込書に必要事項を記入のうえ、10月25日(月)までに環境農林課までお申し込みください。写真(画像データ)を提供いただければ、町ホームページに掲載します。申込書は、窓口で配布しているほか、町ホームページからもダウンロードできます。

なお、「ゆずりませ」の品の譲受けについて、申込者多数の場合は10月25日(月)締切後に抽選を行い、10月29日(金)までに当選者に対してのみ電話で連絡します。

品物の詳しい情報が知りたい方は、環境農林課にお問い合わせください。

みんなを守る 119

粕屋南部消防組合消防本部
(糟屋郡志免町大字田富170)
予防課 指導係
☎935-6389 FAX935-6483
URL:https://www.kasuyanambu-shobo.jp/

住宅防火 いのちを守る 10のポイント - 4つの習慣・6つの対策 -

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

消防本部 Facebook

